

# 令和4年度 本部事務局事業報告

## 1 事業の概要

当福祉会は、昭和50年の設立以来、朝霞市、志木市、和光市の広域的な社会福祉事業の主たる担い手として、安心・安全で多様な福祉サービスを展開し、地域福祉の向上に努めてきました。令和4年度においても、障害児・者の直営2施設である「みつばすみれ学園」、「すずらん」の運営をはじめ、和光市から「ほんちょう保育園」、「にいくら保育園」の運営を受託するとともに、朝霞市の指定管理者として「特別養護老人ホーム朝光苑」、受託事業として「地域包括支援センター朝光苑」の運営を行いました。

### 福祉会を取り巻く環境変化に対応

( 社会制度の変化への対応 )

社会保険制度の令和4年10月改正により、週の所定労働時間が20時間以上の者が新たに健康保険・厚生年金制度の適用者となったことについて、当法人では6人が該当しましたが、遅滞なく加入手続きを進めることができました。

また、道路交通法の令和4年4月改正により、安全運転管理者によるアルコールチェックが義務化されたことについて、当法人では該当する直営2施設と朝光苑において、アルコール検知器を用いた運転前後の酒気帯びチェック体制を整備しました。

( 障害者雇用における法定雇用率の達成 )

障害者の雇用の促進等に関する法律により、当法人では3人以上の障害者雇用が求められていますが、1人分の欠員が令和4年2月以降継続しており、令和4年度中においても雇用を充足させることはできませんでした。障害者雇用に向けた課題として、担当していただく業務の選別と職場環境の整備があり、これらの課題は令和5年度においても引き続き検討していきます。

( 当法人が提供している施設サービスの見える化 )

施設の利用を検討している方や、就職先として当法人に関心がある方に対し、施設の特徴や雰囲気伝えるため、Instagram上で施設の日常や利用者の取り組み等を掲載することで、各施設の特徴と雰囲気が伝わるよう努めました。

( 職員採用と人材育成 )

職員採用においては、①求人情報はできるだけ早期に情報公開すること、②求人情報の周知は有料求人広告を含めた様々な媒体を利用すること、③施設見学希望者を積極的に受け入れること、これらの3点に努めることで、令和5年4月1日付の新卒者4人を含め、計10人を採用することができました。また、新卒者に対しては不安や疑問点の解消や、新卒者間及び先輩職員との交流を目的として懇談会を開催しました。

人材育成においては、階層別の研修計画を軸として、引き続き法人内外の研修受講を通じた人材育成に努めました。

## 2 理事会等の開催

### (1) 理事会

開催:年4回	開催日	決議事項
第166回	6月9日	第1号議案 みつばすみれ学園運営規程の一部改正について 第2号議案 すずらん運営規程の一部改正について 第3号議案 朝光苑障害者短期入所事業所運営規程の一部改正について 第4号議案 定款の変更について 第5号議案 令和3年度決算の承認について 第6号議案 定時評議員会の開催について
第167回	9月30日	第1号議案 みつばすみれ学園障害児等計画相談支援センター運営規程の一部改正について 第2号議案 令和4年度補正予算について 第3号議案 朝光苑特浴機の入替に係る契約締結について 第4号議案 評議員の候補者案と評議員選任・解任委員会の開催について
第168回	12月26日	第1号議案 令和4年度補正予算について
第169回	3月10日	第1号議案 就業規程の一部改正について 第2号議案 組織規程の一部改正について 第3号議案 職員給与規程の一部改正について 第4号議案 令和4年度補正予算について 第5号議案 朝光苑デイサービスセンターにおける債権の放棄について 第6号議案 令和5年度事業計画について 第7号議案 令和5年度予算について 第8号議案 朝光苑宿直警備業務委託に係る契約締結について 第9号議案 朝光苑清掃業務委託に係る契約締結について 第10号議案 朝光苑紙おむつの購入に係る契約締結について 第11号議案 役員賠償責任保険の継続加入について 第12号議案 令和4年度臨時評議員会の開催について 第13号議案 施設長の任免について

## (2) 評議員会

開催:年2回	開催日	決議事項
定時評議員会	6月28日	第1号議案 定款の変更について 第2号議案 令和3年度決算の承認について 第3号議案 理事の選任について
臨時評議員会	3月20日	第1号議案 理事の選任について

## (3) 評議員選任・解任委員会

開催:年1回	開催日	決議事項
第1回	9月30日	第1号議案 評議員の選任について

## 3 監事による監査

開催回数	開催日	内容
3回	5月31日	決算監査 対象:全施設
	12月26日	中間監査 対象:本部事務局、みつばすみれ学園、すずらん
	1月27日	中間監査 対象:ほんちょう保育園、にいくら保育園、朝光苑

## 4 複合施設の避難訓練

### 令和4年度 複合施設避難訓練の実績

開始時間と避難場所は、全て非公表として実施しました

日時	開始時間	訓練別			想定	1次避難場所		訓練内容	みつばすみれ学園 単独の消火訓練
		地震	火災	水害		2次避難場所			
4月 22日(金)	13:00	○			震度4	室内待機		安全確保、状況報告 火気確認、検索	○
5月 12日(木)	10:43		○		1階 厨房から出火	裏駐車場 —		初期消火、通報、避難誘導、人数及び状況報告 火災受信機作動、非常持ち出し、検索、応急処置	
6月 21日(火)	13:15	○			震度6強 2F談話コーナー天井崩落 1F厨房付近ガス漏れ	裏駐車場 —		安全確保、避難誘導、人数及び状況報告 火気確認、検索、災害対策本部設置、車椅子利用者避難	○
6月 27日(月)	15:30				救急隊によるAED、心肺蘇生法講習 ※3			消防署のAED、訓練の人形を使用 (通常の避難訓練とは別日で実施)	
7月 11日(月)	10:37		○		1階 厨房から出火	裏駐車場 —		初期消火、通報、避難誘導、人数及び状況報告 火災受信機作動、非常持ち出し、検索	
8月 5日(金)	10:30			○	浸水 0.5~1メートル	垂直避難		情報収集、避難誘導、人数及び状況報告 物品搬出、止水板の設置	○
8月 19日(金)	15:30				消防署員による消火器訓練 ※2 ※3			消防署の水消火器を使用した初期消火の訓練	
9月 22日(木)	13:13		○		2階 更衣室でトラッキング	裏駐車場 —		初期消火、通報、避難誘導、人数及び状況報告 火災受信機作動、非常持ち出し、検索、応急処置、車椅子利用者非難	
10月 4日(火)	10:30	○			震度6強 2F談話コーナー天井崩落 1F厨房付近ガス漏れ	裏駐車場 —		安全確保、避難誘導、人数及び状況報告 火気確認、検索、災害対策本部設置	○
11月 21日(月)	※1 13:27		○		出火場所非公表 厨房から出火	裏駐車場 —		初期消火、通報、避難誘導、人数及び状況報告 火災受信機作動、非常持ち出し、検索、応急処置	
12月 9日(金)	12:30	○			震度4	室内待機		安全確保、状況報告 火気確認、検索	○
1月 17日(火)	13:27		○		2階 食堂テラスの洗濯機 でトラッキング	正門前 —		初期消火、通報、避難誘導、人数及び状況報告 火災受信機作動、非常持ち出し、検索、応急処置	
2月 13日(月)	10:45	○			震度6強 1F玄関の天井崩落 1F厨房付近ガス漏れ	裏駐車場 —		安全確保、避難誘導、人数及び状況報告 火気確認、検索、災害対策本部設置	○
3月 3日(金)	13:27		○		1階 厨房から出火	裏駐車場 —		初期消火、通報、避難誘導、人数及び状況報告 火災受信機作動、非常持ち出し、検索、応急処置	

※1 消防署員の立ち会い → 11/21(月)

※2 8/19(金)消火器訓練 → 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

※3 網掛部分は避難訓練以外の独自の訓練

(複合施設の避難指定場所)

1次避難場所 → 正面前 又は 裏駐車場

2次避難場所 → 隣家

## 5 自主研修制度の利用状況（令和4年度中の自主研修補助金制度利用者 1人）

研修等	制度利用職員		人数
	所属	職種	
埼玉県介護支援専門員実務研修	朝光苑（包括）	社会福祉士	1人

## 6 各種試験

### （1）職員採用試験（令和4年度中の採用決定者 10人）

職種	試験内容	試験日	試験結果（入職日）
保育士	面接	令和4年4月27日	応募者：1人 採用者：1人（令和5年4月1日）
		令和4年8月26日	応募者：1人 採用者：1人（令和5年4月1日）
		令和4年12月2日	応募者：2人 採用者：2人（令和5年1月1日）
介護職員	面接	令和4年12月7日	応募者：1人 採用者：1人（令和5年4月1日）
		令和5年2月3日	応募者：2人 採用者：2人（令和5年4月1日）
介護支援専門員	面接	令和4年11月29日	応募者：1人 採用者：1人（令和5年1月1日）
事務員	書類選考と面接	令和4年10月11日	応募者：5人 採用者：0人
		令和4年12月7日	応募者：9人 採用者：2人（令和5年4月1日）

### （2）職員昇任審査・試験

項目（方式）	内容	審査日・試験日	審査・試験の結果
施設長昇任審査（推薦）	勤務評価	令和5年2月3日	対象者：2人 合格者：1人
主幹級昇任審査（推薦）	勤務評価	令和4年12月8日	対象者：4人 合格者：1人
主査級昇任審査（応募）	勤務評価 面接・論文	令和5年1月18日	対象者：8人 合格者：2人

7 職員数（令和5年3月31日現在／単位：人）

（ ）は常勤換算の人数

施設名	理事長 施設長	事務員		保育士 児童指導員 生活支援員 介護職員 (補助含)		看護職員 機能訓練指導員		栄養士	児童発達支援管理 責任者 サービス管理責任者 介護支援専門員 生活相談員 社会福祉士 運転手 等			合 計	
		正規	正 規	ハ ー ト	正 規	ハ ー ト	正 規		ハ ー ト	正 規	正 規	ハ ー ト	正 規
本部事務局	1	2	1(0.75)	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1(0.75)
みつばすみれ学園	1	1	—	6	12(8.2)	1	—	—	3	6(4.5)	12	18(12.7)	
すずらん	1	1	—	10	19(13.6)	1	2(1.4)	—	1	—	14	21(15.0)	
ほんちょう保育園	1	1	—	11	20(14.4)	1	1(0.4)	※2	—	—	14	21(14.8)	
にいくら保育園	1	※1	1(0.5)	12	18(11.8)	1	—	1	—	—	15	19(12.3)	
朝光苑	1	4	2(2.0)	28	12(10.1)	7	1(1.0)	1	11	2(1.3)	52	17(14.4)	
合 計	6	9	4(3.25)	67	81(58.1)	11	4(2.8)	2	15	8(5.8)	110	97(69.95)	

※1 ほんちょう保育園と兼務

※2 にいくら保育園と兼務

# 令和4年度 みつばすみれ学園事業報告

## 1 事業の概要

令和4年度事業計画に基づき、運営に取り組みました。前年度同様、新型コロナウイルス感染予防対策を行い、療育や行事内容を変更しながら、開所を継続できるよう運営しました。感染状況は、利用児童26人（内併行15人）、職員6人の感染がありました。コロナによる全体休園、クラス別休園はありませんでしたが、予防対策として5月と8月は土曜開所を中止しました。

なお、令和4年度の新型コロナウイルス感染者及び施設休所の状況は下記のとおりです。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者感染者数	0	2	1	5	6	1	2	4	3	0	2	0	26
職員感染者数	0	0	0	1	2	0	0	0	3	0	0	0	6
全体休所日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一部休所日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\*感染者数は、感染が判明した日に計上

### 利用状況

施設利用者の多様なニーズへの対応に努めましたが、年間の契約児童数は令和3年度の112人に対し89人でした。定員に対する利用率は昨年度65.5%に対し60.4%でした。利用児の構成は、幼稚園、保育園を利用しながら学園を（最大週2日）利用する（併行利用）児童が半数以上を占める状況が続いています。

ここ数年、利用人数の減少や利用率の低下が大きな課題となっています。コロナウイルス感染症の影響による欠席もありましたが、今後はコロナウイルス感染症の扱いが変わっていくこともあり、並行して利用人数の増加と利用率アップへの対策を取っていく必要があります。一方で医療的ケアを必要とする子が増え、出来るだけ受け入れを行っていますが、看護師2名の内の1名の途中退職により受け入れ実績が加算に反映されなかったという状況があり、看護師の適正な配置が課題となります。

その他、低年齢児クラス（0～2歳）から利用を開始したお子さんが生活する力をつけ、保育園や幼稚園に移行するために利用を終了していくケースが多くなっており、療育の効果が上がることが利用人数の減少につながる状況が起きています。

### 専門性の高いサービスの提供

保育士・児童指導員による集団療育に加え、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）、PT（理学療法士）等、専門職による個別療育など幅広い支援を行いました。前年度同様コロナウイルス感染予防のため、対象児や職員の健康状態に留意し、対策を取りながら実施してきました。職員の常時マスク着用での療育は、顔の表情や口元の動きが伝わり難く、療育・訓練が難しい面もありました。

研修については、オンライン研修を有効に活用し、虐待防止研修、階層別研修などに複数の職員が参加しました。また、内部研修としてクラスごとにテーマを決め、クラス別ケース検討を年間を通して行いました。職員の工夫や療育への効果が分かるような内容になり、職員間の良い学びの機会として継続していきます。

また、職員及び保護者による児童発達支援の自己評価を行い、運営・療育について現状の課題を明らかにし、改善に取り組みました。

## 地域支援の強化

「みつばすみれ学園障害児等計画相談支援センター」との連携はこれまで通り行い、スムーズな事業所利用を進めてきました。

近年、低年齢から保育所に在籍しているお子さんに支援の必要性が見受けられるケースが増加してきています。当園では、地域の訪問ニーズに対応すべく、県からの委託事業「障害児等療育支援事業」を継続実施してきました。令和4年度は感染症対策の他、職員の欠員状態が続き、訪問事業を控えざるを得ない面もありましたが、保育所・幼稚園からの訪問ニーズは高い傾向であり、今後に向けて訪問事業を担える職員育成を準備していく必要があります。また、幼稚園に入園後に療育の必要性が認められて相談してくるケースも多く、併行利用のニーズが多様化しています。ニーズに応じた利用方法を検討していく必要があります。

また、「発達障害地域療育支援センター事業（南西部地域療育支援センター）」と連携し、保護者向けの支援として専門職による「就学に向けて気になること」をテーマにした保護者サロンを開催しました。

## 2 主な事業の実施状況

### (1) 主な年間事業

月例事業	誕生会、地震・火災避難訓練、保護者と施設間連絡会、交流保育（中止） 身体測定、こころの発達相談・整形外科健診(月1回)、内科(隔月)、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の指導(週1回・必要に応じ)
5月	クラス懇談会、児童検便(腸内細菌検査)、児童検尿
6月	歯科検診
7月	七夕、父親学級(中止→通常の日曜開所)、夏祭り(内容変更)
8月	彩夏祭鳴子踊り(朝霞市) ※参加見合わせ
9月	祖父母参観(中止→通常の日曜開所)
10月	運動会(宗岡第三小体育館)
11月	クラス懇談会、児童検便(腸内細菌検査)、児童検尿、歯科検診
12月	もちつき会(中止)、クリスマス会(内容変更実施)
1月	父親学級(中止→通常開所)
2月	豆まき、発表会、お別れ遠足(中止)
3月	お別れ会、卒園式(内容変更実施)

### (2) 相談・会議等

相談等	①療育相談/来園・電話相談、個別・訪問・集団療育、健診、機能訓練 ②個別面談、クラス懇談会、保護者と施設間連絡会
会議等	①ケース検討会議、カリキュラム検討会議、クラス会議、職員会議 ②通園バス運行会議、給食検討会議
他機関等との交流	①朝霞・志木・和光市の関係会議(要保護児童対策地域協議会、育成保育関連会議、自立支援協議会、介護給付費等支給審査会、障害者プラン推進委員会等)へ出席 ②和光特別支援学校評議員 ③見学・実習の受入れ(内容変更実施)、中学生職業体験 ④地域の作品展等(チャレンジ作品展/和光市中央公民館) (福祉センター祭り/志木市総合福祉センター) ⑤施設便りの発行・配布(月1回)



### 3 利用状況

#### 児童在籍状況（契約児童）

（月末在籍数：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
朝霞市	36	34	34	31	32	32	33	33	37	37	37	23	399
志木市	28	27	28	29	28	30	30	31	32	31	31	19	344
和光市	13	13	12	12	12	13	13	13	13	13	13	5	145
合計	77	74	74	72	72	75	76	77	82	81	81	47	888
入園者数	11	1	1	1	1	6	1	1	5	0	0	0	28
退園者数	0	4	1	3	1	3	0	0	0	1	0	34	47

※年間利用率 60.4%

### 4 外部協力・援助等一覧

#### （1）寄附一覧（現金・物品）

—敬称略—

7月22日	朝霞ライオンズクラブ	200,000円
1月30日	志木市日本赤十字奉仕団	10,000円
12月28日	栗原 友介	500,196円
合計	3件	710,196円
4月11日	鳥井 俊之	プロジェクター スクリーン
合計	1件	

#### （2）ボランティア受入れ

通年（製作・保育・付き添い児）	個人（2人）	延べ（70人）
夏祭り	なし	
もちつき大会	中止	
クリスマス会	なし	

#### （3）見学等受入れと職員派遣

	件名	実施日数	機関	延べ人数
受入れ	卒園・退園児の引き継ぎと相談	2日	2機関	4人
	学園療育についての見学と体験	7日	6機関	9人
	学園利用児の様子観察	5日	5機関	7人
	次年度就学児・移行児の様子観察	1日	1機関	1人
	学園見学（入園希望者、電話相談など）	85日	—	85人
	学生の受入（中学生職業体験、卒業論文など）	4日	2機関	4人
派遣	育成保育対象児の様子観察	7日	8機関	8人
	フォローグループの援助	9日	1機関	9人
	学園利用児の様子観察・情報交換	17日	13機関	23人
	学園概要・療育の説明	0日	0機関	0人
	巡回相談（学園利用児以外）	27日	16機関	58人

**(4) 実習受入れ**

中学生職業体験	3日間	1校	延べ6人	
保育士養成実習	延べ123日	14学校	延べ161人	淑徳短期大学、淑徳大学、星美学園大学、東京家政短期大学、東京家政大学、草苑保育専門学校、大原学園、十文字学園女子大学、埼玉東萌短期大学、川口短期大学、実践女子大学、秋草短期大学、埼玉学園大学、東京保育専門学校
教員介護等体験学習	なし	なし	なし	
看護実習	3日	1学校	30人	朝霞准看護学校

**(5) 研修実績**

区分	日時	内 容	参加人数
外部研修	05/26	人権問題研修	1人
	09/13	ペアレントトレーニング講習会（連続講座 計3回）	3人
	09/21	苦情解決セミナー	1人
	11/30	新任職員フォローアップ研修	2人
	02/15	施設長および幹部職員研修会（WEB）	1人
	02/20	個人情報保護研修（WEB）	2人
	02/22	職場のメンタルヘルス	2人
	03/20	令和4年度虐待防止研修（WEB）	1人
内部研修	04/27	滑り台の滑り方、トランポリンの乗り方・降り方、介助方法	15人
	06/13	溺水防止研修	15人
	12/12	歯磨き研修	14人
	01/13	クラス別ケース研究	18人
	02/10	クラス別ケース研究	15人
	02/24	クラス別ケース研究	15人
	03/06	クラス別ケース研究	15人
	通年	ヒヤリハット事例検討	

## 5 障害児等療育支援事業実績（療育相談利用状況）

【職種】児童指導員、保育士

【事業内容】在宅障害児（者）の地域生活支援。療育相談（電話相談／来園相談）、訪問療育、幼稚園・保育所等との相互支援等（埼玉县委託事業）

（延べ回数）

	①在宅支援 訪問療育等指導事業		②在宅支援 外来療育等指導事業			③施設支援 一般指導 事業	①～③ の合計	関係機関 との連携
	巡回相談	訪問健康診査	発達相談	療育	検診			
朝霞市	0	0	15	7	0	28	50	5
志木市	0	0	10	0	0	15	25	7
和光市	3	0	4	1	0	19	27	3
新座市	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	1	1	2
合計	3	0	29	8	0	63	103	19
	3		37			63	103	19

## 6 みつばすみれ学園障害児等計画相談支援センターの実績

【職種】相談支援専門員

【事業内容】障害者（児）等への相談やサービス利用計画の作成、モニタリング等の支援  
対応件数

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計
	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	
新規計画 請求	0	4	0	0	0	4	0	2	0	1	0	5	0	1	0	2	0	3	0	0	0	1	2	0	25
更新計画 案請求	1	25	0	21	3	28	3	16	7	29	4	23	0	28	1	26	3	30	4	29	1	29	3	52	366
モニタリ ング請求	2	31	7	53	10	67	7	56	5	41	6	42	5	32	6	32	6	36	8	25	2	28	8	42	557
合計	3	60	7	74	13	99	10	74	12	71	10	70	5	61	7	60	9	69	12	54	3	58	13	94	948

特：特定相談支援

児：障害児相談支援

## 7 南西部地域療育センターの実績

【職種】臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士

【事業内容】専門職が個別療育や家族への支援を行う埼玉県からの委託事業（地域療育センター事業）。令和4年度より未就学児は児童発達支援給付費で対応し、就学児は委託費で対応となった。

実績件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付費対象	45	48	65	59	65	71	66	71	63	72	73	78	776
委託費対象	37	36	33	26	32	32	31	31	18	18	18	18	330
合計	82	84	98	85	97	103	97	102	81	90	91	96	1106

# 令和4年度 すずらん事業報告

## 1 事業の概要

令和4年度の事業計画において、以下に示す事業目標を掲げ運営を行いました。

### 利用ニーズへの対応

年度中に1名が入所、6名が退所となり、年度末の利用契約数は51名でした。今年度は、家庭の都合により入所施設へ入居する方が多く見られた年となりました。

利用者のニーズをくむべく利用者の状況及び家庭背景を鑑み、臨時の個別送迎を行う回数を増やし、利用時間延長等も随時行い、利用促進に繋がる必要な支援の取り組みを継続実施してきました。また、年度途中に送迎時間の変更希望があった方へも柔軟に変更対応を行いました。

医療的ケア対象者及び、重度者への支援体制については、医療的ケア委員会や個々の支援計画作成時、随時の対応方法の検討を行い、ケア方法を確認し支援体制の充実を図りました。

今年度は新型コロナウイルスの影響と退所者が増えたことから、年間利用率は93.9%となり前年度からは4.5%減少の結果となりました。

### 支援計画策定と介護、相談体制の充実

個別支援計画書作成、交付については、感染予防の観点から保護者が来所して内容確認する機会がほぼ無い状況が続いていました。年度後半からは、感染症への対応が緩和してきたことから、書面中心の確認から少しずつ対面で確認する機会が増えてきました。対面で会えない時には、電話等で連絡を取り合い相談や確認体制の充実を図りました。また、担当の相談支援専門員とも連携し、情報の共有化や多職種で連携した支援を心掛けました。

保護者会は昨年度までは新型コロナウイルス感染予防の観点から書面開催となっていたが、令和4年度は対面での開催を行いました。改めて実際に会って意思疎通を図ることの大切さを感じています。

職員が支援力を向上させるため、外部研修、内部研修に力を入れました。外部研修は現在主流となっているオンライン研修に参加する機会が増えました。内部研修では障害特性や医療知識を学ぶ研修を例年以上に取り入れて支援技術力向上に努めました。

### 安定した施設運営

年度当初から新型コロナウイルス感染の状況に配慮しながら、最大限利用者の受け入れを行うべく感染予防及び蔓延防止対策の徹底を行いました。利用者へは健康チェックカード導入等の体調管理体制を継続しました。職員、利用者共に所内ではマスクの着用を促し、特に食事介助の場面では防護体制を充足させ飛沫による感染防止に努めました。

主要行事については、大人数にならない配慮をする等、この状況下でも行える様に工夫して、計画通り開催することが出来ました。

今年度も感染防止に必要な対策を講じてきましたが、特に新型コロナウイルス第8波の影響を受けた12月に2つある活動グループの内1つのグループを2日間登所自粛要請することになりました。年度当初から対応職員数を調整し収支のバランスを考慮しましたが、新型コロナウイルスの影響と家庭の都合により退所者が重なったことから、結果的に介護給付収入が目標には届かず経営的に課題が残りました。

なお、令和4年度の新型コロナウイルス感染者及び施設休所の状況は下記のとおりです。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者感染者数	0	0	0	2	2	0	0	2	0	2	0	0	8
職員感染者数	0	1	0	1	1	1	0	5	2	0	0	0	11
全体休所日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一部休所日数	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2

\*感染者数は、感染が判明した日に計上

## 2 主な事業の実施状況

### (1) 主な年間事業

月例事業	誕生会(毎月末に各グループ毎に実施)、製作品販売、地震／火災避難訓練、身体測定、嘱託医診察等(内科、精神科、整形外科、理学療法、作業療法)、音楽療法(全6回実施)
4月	出発式、歯科検診
7月	夏祭り(外来者無し、グループ毎に実施)
9月	スポーツレクリエーション(外来者無し、グループ毎に実施) 定期健康診断(胸部レントゲン、血液検査を含む)
10月	ハロウィン(グループ毎に実施)、定期健康診断(胸部レントゲン、血液検査を含む)
11月	すずらんフェスティバル(活動班毎の保護者参観、班毎の活動班パネル紹介展示、製作品販売)、検便
12月	もちつき大会(中止)、クリスマス忘年会(各グループで実施)
1月	初詣
2月	節分
3月	年度終了式

### (2) 会議等

施設内会議	①職員会議(毎月) ②給食会議(年3回) ③通所バス運行会議(毎月) ④ケース支援・打ち合わせ会議(毎日) ⑤個別支援計画会議(随時) ⑥支援グループ会議(随時) ⑦保護者と施設間連絡会議(年2回、今年度から参集形式を再開) ⑧感染症防止委員会/衛生委員会(年12回) ⑨身体拘束廃止/事故防止委員会(年4回) ⑩医療的ケア委員会(年6回)
関係機関会議	①4市医療職ネットワーク会議(年1回) ②相談支援事業所との適宜連絡(随時) ③和光南特別支援学校「関係機関向け学校見学会」(年1回) ④和光特別支援学校 進路連絡協議会(年1回)

### 3 利用状況

#### (1) 市別在籍状況(契約利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	合計
朝霞市	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
志木市	27	27	27	27	26	25	23	22	23	23	23	23	296
和光市	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
合計	56	56	56	56	55	54	52	51	52	52	52	52	644
入所者数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
退所者数	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0	0	1	6

※利用率 93.9%

#### (2) 障害程度別内訳

(R5.3月末)

	㊦	A	B	C	判定無し	計
療育手帳(知的判定)	41	5	2	1	2	51
精神保健手帳の併所持	0	0	1	0	1	2
身体障害者手帳の併所持	25	0	1	1	2	29

	1種1級	1種2級	1種4級	2種1級	2種4級	2種5級	計
身体障害 等級内訳	17	8	1	1	1	1	29

※車椅子使用者19人

	1級	2級	3級	計
精神障害 等級内訳	2	0	0	2

### 4 外部協力・援助等一覧

#### (1) 寄附一覧(現金)

—敬称略—

期日	寄附者	金額	備考
12/28	栗原友介(嘱託医報酬分)	250,098円	
合計	1件	250,098円	

#### (2) 地域との交流

通年	新河岸川「川の国応援団美化活動団体」清掃活動実施
10月	北足立郡市町人権フェスティバル 製作品販売
3月	総合福祉センター祭り すずらん、活動班パネル紹介展示

#### (3) 実習生等受け入れ

##### ア 特別支援学校学生

特別支援学校実習	延べ15日	3報	延べ5人	特別支援学校(和光南、和光、所沢おおぞら)
----------	-------	----	------	-----------------------

##### イ 教員

特別支援学校初任者研修	延べ2日	1報	延べ6人	和光特別支援学校教員
-------------	------	----	------	------------

ウ 中学生

社会体験チャレンジ授業	延べ 3日	1 輩	延べ 4人	朝霞第一中学校
-------------	-------	-----	-------	---------

エ 准看護学校学生

施設実習	延べ 3日	1 輩	延べ29人	朝霞准看護学校
------	-------	-----	-------	---------

オ 大学生 介護等体験(教員免許取得実習)

介護等体験実習	延べ20日	3 輩	延べ 4人	女子栄養大学、東京電機大学 城西大学
---------	-------	-----	-------	-----------------------

カ 短期大学生

施設実習(保育実習)	延べ11日	1 輩	延べ 1人	秋草短期大学
------------	-------	-----	-------	--------

(4) ボランティア受入れ

畑の除草等	個人(1人)	延べ3人	畑指導	個人(1人)	延べ33人
-------	--------	------	-----	--------	-------

(5) その他

年12回	朝霞市美容師組合ボランティアの会による美容整髪(希望者対象：有料)				
------	-----------------------------------	--	--	--	--

(6) 職員研修実績

区 分	内 容	参加者
外部研修	06/10～09/21(計7日) 相談支援従事者初任者研修(WEB、対面)	1名
	07/01～09/16(計5日) サービス管理責任者等基礎研修(WEB)	1名
	08/16～09/16(計5日) BCPの作成のコツを学ぶ(WEB)	2名
	09/20～10/19(計1日) 医療の視点から障害特性を理解する(WEB)	1名
	11/08、15 令和4年度チームリーダーキャリアアップ研修(WEB)	1名
	12/07、21 令和4年度初任者キャリアアップ研修(WEB)	1名
	12/14、20 令和4年度中堅職員キャリアアップ研修(WEB)	1名
内部研修	04/26 第1回ミニ研修「強度行動障害」	8名
	05/24 第2回ミニ研修「ピープルファースト」	11名
	06/28 障害の特性について(自閉症)	22名
	06/29 第3回ミニ研修「フォロワーシップの大切さ」	14名
	07/28 第4回ミニ研修「社会福祉連携推進法人制度」	18名
	08/08 てんかん研修	22名
	08/30 第5回ミニ研修「障害のある人を支援すること」	16名
	09/08 第6回ミニ研修「インリアルアプローチ」	17名
	09/29 虐待防止研修	16名
	09/30 虐待防止研修	14名
	10/06 個別機能訓練研修	18名
	11/02 第7回ミニ研修「福祉のはじまりって？」	18名
	11/25 第8回ミニ研修「一緒に学ぼう！嚙下とは」	17名
	11/30 感染症(吐物処理)研修	18名
	01/13 第9回ミニ研修「ノーリフトケア」	12名
01/20 第10回ミニ研修「バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーション」	16名	

02/16	第11回ミニ研修「療育手帳」	14名
03/10	第12回ミニ研修「ダウン症ってなんだろう？」	6名
03/16	作業療法に関する研修	19名
03/28	支援を考える	12名



# 令和4年度 和光市ほんちょう保育園事業報告

## 1 事業の概要

令和4年度事業計画にあげた下記の目標に基づいて取り組んできました。

### 保育内容・障害児保育の推進

令和4年度は在籍児童数89名でスタートし、途中の入退園があり年度末は87名でした。新型コロナウイルス感染症陽性が断続的に発症し、年間利用率は86.6%でした。継続的に保育室やおもちゃ類の消毒、こまめに換気を行い、状況に合わせた環境の工夫をしました。

保育内容については、保育園の3本の柱の運動、音楽、食育の内容を見直し一人ひとりの子どもの気持ちを尊重し、主体的に興味関心を拓けて活動することが出来るように職員間で話し合い、保育の充実を図りました。乳児保育・3歳未満児の保育については保育者が一人ひとりの気持ちを読み取り、やり取りする中で安心して過ごせるよう応答の対応を心掛け、幼児についても、乳児期からの積み重ねを大切に、つながりのある保育の中で自らやってみたいと感じ表現することや他者の気持ちに気づいたり、様々な関わりの中で他者を受け入れつつ自分を大切に作る心、協調性、協同性を育むように対話を重ねていきました。

また、発達に支援の必要な園児や育成一時保育児童についても、これまで同様に家庭状況や対応などについて職員間で把握し、関係機関と連携を取りながら各年齢クラスでの育ちや就学へスムーズに移行できるようにし、所属するクラスの子ども達も、お互いを理解し仲間として過ごすことができるよう保育者が仲立ちとなるように努めました。また、子ども達が主体的に活動できるよう、室内のコーナー設定などその時々の子ども達の興味に合わせて見直し、点検・修繕などで安全に使用できるようにしました。

なお、令和4年度の新型コロナウイルス感染症及び施設休所の状況は下記の通りです。

新型コロナウイルス感染症	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者感染者数	0	3	1	0	0	3	0	0	2	2	0	0	11
職員感染者数	1	1	0	0	0	0	0	2	2	3	0	0	9
全体休所日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一部休所日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\*感染者数は、感染が判明した日に計上

### 豊かな感性を育む取り組み

季節の移り変わりや自然、手先を使う遊びや人との関わり、3本の柱の取り組みなど、遊びや生活の中で自分で発見し試そうとする力の芽を見守り支えられる環境づくりを行っていきました。子ども達から保育者や友達に共感・共有を求めたくなるような環境を整え、豊かな感性を育めるようゆったりとした保育を心がけ取り組むことができました。

食育については未だ飲食が感染流行への影響が大きいと、調理保育は見学するにとどめ、野菜の栽培や給食の食材などからも「食」への興味関心が持てるよう工夫し行ってきました。

行事については、感染症対策で制限され中止や縮小を余儀なくされましたが、子ども達がやりたい気持ちを大切に出来るだけの対策や形を変えるなど、可能性を検討し取り組みました。園庭での外遊びを充実させ、散歩にも積極的に出かけて交通ルールや公共の場所の利用の仕方などを伝えてきました。また、季節を感じたり自然物を遊びに活用したり、捕まえた生き物や草花を図鑑で調べたり育てるなど、日常生活の中で子ども達が自ら発見し考えて行動できるような保育を心がけました。そのほか乳児クラスや3歳未満児も含め、全身を使って楽しむ音楽や運動の取り組みや廃材を利用しての造形など行い、送迎時に親子で写真や作品を見て会話する姿が見られました。

## 保護者支援・地域支援

園と家庭をつなぐコミュニケーションアプリ「ハグノート」を活用した日々のやり取りや送迎時の対話、電話連絡、個別面談などを通し、子ども達の姿や成長を丁寧に伝え、保護者の子育てと子ども達の主体的な育ちを支えてきました。

保育参加については、今年度は1時間という短時間設定の中、1家族1人までとかなり制限を設けての実施となりましたが、81人の参加をいただきました。懇談会は時間を短縮し行いましたが限りある時間内で保護者同士の関わりの機会を設ける事ができました。また、今年度もICTを活用充実し、写真や文章の工夫で子ども達の日常の姿や成長を伝え保育園の様子を親子で共有出来るようにしました。

保護者の負担軽減の取り組みとして令和5年4月から導入するオムツと布団のレンタルのサブスクに向けて準備を進めてきました。

外部のボランティアや地域の方の立ち入りは出来ませんでした。実習などは実施することが出来ました。

## 2 主な事業の実施状況

### (1) 主な年間事業 ※新型コロナウイルス感染症対策により、時間を短縮、内容変更し実施。

月例事業	火災避難訓練(毎月)地震避難訓練(隔月)、防犯訓練(年3回) 布団乾燥 誕生会、市内保育園関係会議(事業者連絡会議、施設長会議、看護業務会議 栄養士会議、幼保小連絡協議会、心の教育推進委員会、道徳だより発行) 園だより、クラスだより、献立表、保健だよりの発行
5月	0～5歳児クラス懇談会
6月	くじら組だけの特別な日(5歳児)
7月	保育園運営委員会
8月	大規模地震を想定した児童引き取り訓練
10月	運動会(園庭にて、4・5歳児入れ替え、保護者2名参加)
11月	5歳児クラス懇談会、消防署立合火災避難訓練、ほんちようフェスタ
12月	焼きいも会(5歳児)、もちつき(つくのみ)
1月	0～4歳児クラス懇談会
2月	節分、保育園運営委員会、味噌作り見学(4歳児)
3月	ひなまつり、卒園思い出遠足、入園説明会、卒園式、お別れ会

### (2) 児童の健康管理

- ・ 身体測定(毎月)、内科健診(6、11月)、歯科検診(6月)、尿検査(11月)
- ・ 乳児健診(5・7・9・11・1・3月)
- ・ 手洗い指導、感染症予防についての話(看護師)

### (3) 地域交流事業

- ・ 和光市図書館団体貸し出し利用(年2回・各100冊)
- ・ 絵本の読み聞かせボランティア「絵本とお話の会」
- ・ 心の教育推進活動あいさつ運動(職員のみで実施)  
※市内小中学校との共同事業として各学期の開始時期に1週間ずつ実施

### (4) 特別保育事業

- ・ 保育参観/個別面談 81人の参加  
3、4、5歳児 5/17～7/30  
0、1、2歳児 9/6～10/29

### (5) 実習生の受入れ

- ・ 保育士実習生 1校1人 ・ 看護師実習 2人

## (6) 職員研修

- ・ 職場内研修  
「乳児保育の環境。保護者対応について」  
(講師：お茶の水女子大学附属こども園園長 宮里暁美氏)  
虐待・子どもの人権について、保護者対応について、不適切保育について、救急法
- ・ 外部派遣研修（動画配信やオンライン研修の利用も含む）  
財務管理マスターズ、ドキュメンテーション、発達支援サポーター発達障害の基礎理解、  
発達支援（地域連携）、中堅キャリアパス、チームリーダーキャリアパス、等
- ・ 和光市主催保育士研修  
「リスクマネジメント」「対話と共感の幼児教育論」「子どもの心の育ちと対話する  
保育の実践」2～3名ずつ、年5回参加

## 3 利用状況

### (1) 児童在籍状況

年間開園日数 令和4年度293日（うち土曜日 50日）

月初日在籍児童数（育成児童／3歳児1人・5歳児2人）（単位：人）

対象 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
1歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
2歳児	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
3歳児	20	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19	17
4歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
5歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
合計	89	88	89	89	89	89	89	89	89	89	89	87

平均利用率	86.6%	土曜日平均利用者数	4.2人
-------	-------	-----------	------

※家庭の都合による退園

4月 3人（3歳児2人、4歳児1人）  
 5月 2人（2歳児1名、4歳児1名）  
 6月 1人（3歳児）  
 10月 1人（2歳児）  
 11月 1人（2歳児）  
 2月 2人（3歳児）

### (2) 育成一時保育事業

発達の遅れに心配のあるお子さんを持つ保護者を対象に、リフレッシュなどの理由で一時的にお子さんをお預かりし保育する事業として、和光市から委託され実施。

利用定員は1日3人まで、利用時間は平日の8:30～16:30、延長時間16:30～17:00。

利用料金は、4時間以内1,200円、その後1時間につき250円加算。延長時間利用料金200円。

(単位：人)

人数 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録人数	20	22	22	24	24	24	25	25	25	27	28	29	
利用延人数	36	32	39	42	60	51	39	45	47	39	45	62	537

平均利用率	73.7%
-------	-------

# 令和4年度 和光市にいくら保育園事業報告

## 1 事業の概要

令和4年度事業計画にあげた下記の目標に基づいて取り組んできました。

### 安心で安全な保育環境を提供する

令和4年度は在籍者数109人でスタートし、途中111人の月もありましたが、3月には109人となりました。新型コロナウイルス感染症については、4月、主に幼児において家族からの感染や経路不明による発熱が多くみられ、1か月の陽性児童数が28人となりました。コロナ以外に、手足口病やインフルエンザに罹患した幼児が多く、年間利用率は82.0%でした。その他、0歳児の土曜日利用が多く、適切な職員配置に努めました。給食時のパーティションの使用や消毒、こまめな換気などを実施し、できる限り安全な生活環境の維持を図り、手洗いや黙食など、子どもたちができる予防の取り組みを意識して伝えました。

なお、令和4年度の新型コロナウイルス感染者及び施設休所の状況は下記のとおりです。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者感染者数	28	3	0	13	2	1	1	1	4	5	1	0	59
職員感染者数	7	0	0	7	1	3	0	0	3	1	0	0	22
全体休所日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一部休所日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\*感染者数は、感染が判明した日に計上

保育内容については、日常の保育で子ども達がやりたいことを話し合い、内容を深め継続した遊びが拡がり、中には異年齢グループを超えてごっこ遊びからイベントになるような取り組みも生まれました。行事についても従来とは形を変え、子ども達が保護者と一緒にやってみてみたいことを話し合い、運動会などの実施につなげました。

3歳未満児の子どもたちは、一人ひとりの生活リズムにあわせて過ごせるように、より丁寧な関わりや環境設定に配慮し、もっとやりたい、嫌だ、などと思う気持ちを受け止めながら、本人が納得できるまで待つことなどを心がけました。

### 健康な体作りをしていく

令和4年度も全面的な休園はなく、戸外活動の機会を適宜設けながら過ごしました。コロナ以外の感染症については、8月に手足口病17人、インフルエンザA型が1月7人、2月5人、3月13人が罹患し、抵抗力の弱い乳幼児における集団生活の予防の難しさを実感しました。

調理保育や配膳活動など食育の取り組みについては、感染予防の観点から直接触れることは難しいものでしたが、例年子どもたちが行ってきた『梅シロップ作り』や『味噌作り』は、栄養士が作り方を説明しながら見せる形で取り組みました。また、食材への興味を持つ機会として「トウモロコシの皮むき、そらまめのさやむき体験」やプランターできぬさを育てる等を行い、体を丈夫にする食べ物についてなど話題にしました。

### 子どもの成長発達について保護者との共通理解を深める

保護者懇談会は、年度初めはコロナ罹患者が多く書面開催となりましたが、保護者同士の交流が持ちにくい状況を鑑みて、11月に各クラス懇談会を企画、実施しました。また、個

別面談は時期を見ながら実施することができました。日頃の保育の様子を見たり保育士体験していただく「保育参加」は流行状況に配慮し、開始時期をずらして給食体験はなしで行い、68人の参加がありました。その他、「写真付きエピソード記録（ドキュメンテーション）」や写真販売の際に動画配信するなど、日々の活動の様子を伝える機会を増やしたことで、保護者に好評を得ています。

チャレンジ保育対象児は4人在籍し、配慮の必要な事項や留意する点など、個別の支援についてそれぞれの保護者と確認し、療育など関係機関との協力や情報共有を丁寧に行いました。

地域の子育て世帯向けの支援事業である園開放事業（あそぼう会）は園舎への立ち入りなしとし、園庭で遊ぶ形で行いました。中止になる時期も多く参加人数は限られました。入園前の園見学は1回あたりの参加人数を制限し、部屋へは入らずに園内の活動を見学していただきました。年間を通して64人の見学者がみえました。

## 2 主な事業の実施状況

### (1) 主な年間事業 ※新型コロナウイルス感染症対策により、時間を短縮、内容変更し実施。

月例事業	火災避難訓練（毎月）、地震避難訓練（隔月）、防犯訓練（3回）、 布団乾燥、誕生会 市内保育園関係会議（事業者連絡会議、看護業務会議、栄養士会議、幼保小連絡協議会、心の教育推進委員会、道徳だより発行） 園だより、クラス・グループだより、献立表、保健だよりの発行
4月	進級式 園外保育（5歳児）→延期 乳児クラス懇談会（書面開催）
5月	幼児グループ・クラス懇談会（書面開催）園外保育（5歳児、4歳児）
6月	保育園運営委員会（対面開催）
7月	夜まで保育園（5歳児）
8月	大規模地震を想定した児童引取り訓練
10月	運動会（4、5歳児のみ園庭で実施）、個別面談（5歳児）
11月	おばけ屋敷（5歳児企画、平日、時間差で全園児参加） 個別面談（1、5歳児）火災避難訓練（消防署立ち合い消火訓練）
12月	個別面談（0、2歳児）
1月	保育園運営委員会（対面開催）、個別面談（3歳児）
3月	思い出遠足（5歳児）、卒園式、入園説明会、お別れ会

### (2) 児童の健康管理

- ・ 身体測定（毎月）、内科健診（5月、11月）、尿検査（11月）  
乳児健診（5月を除いた奇数月）
- ・ 歯科検診 6月

### (3) 地域交流事業

- ・ 園開放日（にこにこデー）6月から園舎への立ち入りなしで実施、参加者4人
- ・ 和光市図書館団体貸し出し利用（年2回・各100冊）
- ・ 絵本の読み聞かせ ボランティア「ひまわりクラブ」 5回実施 ※中止6回
- ・ 心の教育推進活動あいさつ運動  
※市内小中学校との共同事業として各学期の開始時期に1週間ずつ実施

#### (4) 特別保育事業

- ・ 年末保育（12月29日 8人利用、30日 4人利用）
- ・ 保育参加（6/1～1/31まで実施）  
延べ参加人数68人

#### (5) 実習生の受け入れ

- ・ 保育士実習 6校・6人
- ・ 看護師実習 3人
- ※ 入園前の事前見学 64人

#### (6) 職員研修

- ・ 職場内研修  
映画「こども会議」を鑑賞、園内で語り合い、自分たちの保育を振り返る  
幼児心理講習会「子どもと親の育ちを支える保育者コース」を受講後、全職員で  
振り返り会を実施  
子どもを尊重する保育・人権擁護、虐待防止について
- ・ 外部派遣研修（動画配信やオンライン研修の利用も含む）  
初任者・中堅職員・チームリーダー研修（県社協主催）、発達支援の実践、  
乳児保育、等
- ・ 和光市主催保育士研修「リスクマネジメント」「対話と共感の幼児教育論」など
- ・ 和光市主催保育士ゼミ研修「0, 1, 2歳児の保育」「発達支援スキルアッププログラ  
ム」「子どもの心の育ちと対話する保育の実践」2～3名ずつ、年5回参加

### 3 利用状況

年間開園日数 293日（うち土曜日 50日）

月初日在籍児童数（育成児童／2歳児1人・3歳児2人・4歳児1人）（単位：人）

月 対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年 1月	2月	3月
0歳児	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9
1歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	14	15	15	15
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
3歳児	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
4歳児	22	22	23	23	23	23	23	22	22	22	22	22
5歳児	23	23	23	23	23	22	22	22	22	22	22	22
計	109	109	110	110	111	110	110	109	108	109	109	109

平均利用率	82.0%	土曜日平均利用者数	11.2人
-------	-------	-----------	-------

※土曜日平均利用者数には運動会等の行事参加者が含まれる

※転居等による退園 8月 1人（5歳児） 10月 1人（4歳児）  
11月 1人（1歳児）  
途中入園 6月 1人（4歳児） 8月 1人（0歳児）  
1月 1人（1歳児）

# 令和4年度 朝光苑事業報告

## 1 事業の概要

令和4年度の事業計画において、以下に示す事業目標を掲げ運営を行いました。

### 利用される施設となる(利用率の向上)

利用率の目標及び結果は、

① 介護老人福祉施設	(目標) 94%	(結果) 88.6%
② 短期入所生活介護	(目標) 86%	(結果) 70.3%
③ デイサービスセンター	(目標) 85%	(結果) 67.4%
④ 居宅介護支援センター	(目標) 105件/月	(結果) 91.3件/月
⑤ 地域包括支援センター	(目標) 140件/月	(結果) 130.3件/月

#### ① 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

特別養護老人ホームでは新規入所者が14人に対し退所者は20人と上回り、年間利用率は88.6%にて前年度比較では4.0ポイントの減となりました。入院者については前年度から微減していますが、看取り介護実施での退所数は微増しており、入居者の状態が全体的に重度化していると考えられます。また、コロナ禍の影響による申込者の生活背景から、入所手続きが遅れるケースも見られましたが、職員の欠員等により勤務配置数が不足し、担当業務の遅延等が課題となりました。また、令和4年11月のクラスター発生では入居者44人、介護職員15人の罹患者数となり、運営体制の立て直しに時間を要した事も要因と考えられます。

入所施設における生活及び医療ニーズは多様化しており、特養の環境は医療病床に類似してきている実態もありますが、公設施設ならではの安心・安全な生活支援と運営をアピールし、入所待機者が早期に利用出来る体制づくり等を進め、利用率の向上につなげます。

#### ② 短期入所生活介護(ショートステイ)

ショートステイ事業は新型コロナウイルス感染予防対策を継続し、利用中の罹患者は無く経過していましたが、特養のクラスター発生に伴うショートステイ事業の閉鎖期間が長引いた事から、クラスター収束後も利用率低下が顕著であり、年間利用率は前年度より14.5ポイントの減となりました。なお、空床を利用した障害者短期入所事業の利用者数は全体の約0.3%ですが、コロナ禍の影響もあり、新規利用が見られていない状況が続いています。

今後も基本的な感染予防対策を継続するとともに、居宅介護支援センター等への空き情報の提供や、緊急利用受入れ等の体制整備を図り、利用率の回復を目指します。

#### ③ デイサービスセンター

デイサービスセンターではショートステイ事業と同様に、利用時の感染予防対策を継続しながら、新規利用者を受入れしてきましたが、特養のクラスター発生による事業停止の期間中に他事業所のサービス利用へ移行したケースも見られ、クラスター収束以降も利用率が回復しない状況となり、前年度比較では17.3ポイントの減となっています。

新型コロナウイルス感染拡大などの影響を受けやすい通所系事業ですが、利用者の機能訓練など自立支援・重度化防止につながる取り組みは、在宅生活の支援に結び付く為、今後も地域で選ばれるデイサービスセンターを目指します。

#### ④ 居宅介護支援センター

居宅介護支援センターでは、地域や関係機関からの依頼に対して丁寧に対応し、年間担当件数は1,096件にて、前年度より11.8ポイントの増となりましたが、契約者の入院長期化、施設入居、担当ケアマネジャーの退職等の影響により、目標のケアプラン作成件数には届きませんでした。

今後も介護を必要としている方が、希望する在宅生活を送ることができるよう、引き続き、関係機関との連携を図り、ケアプラン作成や各種サービスに関する手続きを行います。

#### ⑤ 地域包括支援センター

地域包括支援センターでは、地域包括ケアシステムの構築に向けた必要な包括的支援事業を市と連携して推進し、介護予防ケアマネジメント、総合相談、権利擁護、生活支援体制整備事業、認知症施策推進事業、地域ケア会議等、積極的に取り組みを続けております。対象者の状態変化により、予防給付から介護給付へ変更となるケースや施設入所に移行するケース等が見られた他、介護支援専門員の欠員補充までに時間を要した事も含め、年間ケアプラン作成件数は1,546件となり、前年度より9.1ポイントの減となりました。

センターの役割として地域福祉を支える要であることを認識し、今後も市・関係機関及び地域住民と連携しながら運営を行います。

### 感染症や災害への対応力の強化

感染症においては令和2年の新型コロナウイルス発生以後、高齢者、介護を要する方々の生活面への影響を重視し、先ず施設内発生を阻止することを第一義として、他の通所系サービス及び短期入所サービスにおいても十分な対策を講じて、特養入居者の罹患発生は無く経過してきましたが、令和4年度のクラスター発生という事態は運営に多大な影響をもたらしました。

収束後の検証作業においては、明確な感染経路の特定はできませんでしたが、無症状感染者の入館者、又は職員による経路が濃厚であったと推測されます。職員においては定期的な抗原検査受検と健康チェックを行い、入居者へのワクチン接種は4回目を終えた時期での、このクラスター発生は、改めてウイルスの感染力が猛威であることを痛感しました。今後についても嘱託医、関係医療機関との連携による健康維持の取り組みを継続していくなか、利用者の精神生活面に作用する規制緩和の社会情勢を考慮し、対応策を検討していきます。

なお、令和4年度の新型コロナウイルス感染者及び施設休所の状況は下記のとおりです。

感染者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	特養(入居者)	0	0	0	0	0	0	0	44	0	2	0	0	46
	ショートステイ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	デイサービス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
職員	特養介護職員	0	0	0	1	0	0	0	15	1	2	0	0	19
	ショートステイ担当	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	デイサービス、他	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3
全体休所日数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一部休所日数(ショート)		0	0	0	0	0	0	0	29	8	5	0	0	42
一部休所日数(デイ)		0	0	0	0	0	0	0	23	7	0	0	0	30

注①：ショートステイ・デイサービス利用者は利用中に感染判明した数

注②：ショートステイ利用者感染者のうち12月の1名は送迎時に判明したものの



大規模災害への対応については、当苑が福祉避難所としての役割を担う観点からも、避難者の安全確保を優先し、災害への対応力を強化していく為の定期的な研修と訓練を重ねてきました。有事の際にも介護サービス利用者が安定的・継続的にサービスを受けられるよう、職員の確保をはじめ、関係機関及び地域住民との連携を構築するとともに避難時の感染症予防対策にも留意し、入念な対応策を検討していきます。

### 自立支援・重度化防止の取組みの推進

令和3年度介護報酬改定における科学的介護の推進は、介護情報の収集と検証（※LIFEへのデータ提出とフィードバック）を通して自立支援・重度化防止の取組みへ繋げるものであり、当苑導入後は情報収集と記録のICT化による作業の時間短縮が図られるなど、有効的な面が開けてきましたが、実際のデータを検証して対策を講じるフィードバック作業については、実践に結びついていない現状があります。今後も従来までのお世話係介護から、科学的根拠に基づく介護への移行を主軸に介護職員・看護職員等の意識向上を図って、この課題に積極的に取り組めます。

また、自立支援・重症化防止への取組みとしてカンファレンスの定期開催による情報共有と、多職種連携による、入所者・利用者の身体状況や希望、環境などを考慮した個別プログラムの実践に取り組んできました。近年のコロナ禍による弊害には、活動や行動制限による意欲の喪失、身体機能の低下が顕著なケースもあり、今後の情勢に合わせた諸活動や関わりを再検討していきます。ベッドや居室から離れて他の人達との交流、各種行事・レクリエーションなどを取り入れることなどを通して心身の機能保持を支援していきます。

#### ※LIFE(科学的介護情報システム)

介護サービス利用者の状態や介護施設で行っているケアの計画、内容等を入力するとインターネットを通じて厚生労働省へ送信し、入力内容が分析されて当該施設にフィードバックされる情報システム

## 2 各事業の実施状況

### (1) 主な年間事業

各種委員会などについては概ね予定通り実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により入居者・利用者に季節感を感じてもらえるような外出活動やボランティア参加型のレクリエーション活動などは中止となりました。

区分	介護老人福祉施設（特養）	デイサービス	その他
月例事業	誕生会、注文買物、理髪、口腔衛生指導 (以上は月1回)、嘱託医健診(内科/週1回、精神科/月2回)、理学療法(月2回)、特養ラインカンファレンス(年28回)、新入所者ラインカンファレンス(年15回)、優先入所検討委員会(月1回)、身体拘束廃止委員会(年4回)、感染症対策委員会(年4回)、臨時感染症対策委員会(年12回)、給食委員会(年4回)、痰吸引安全委員会(年4回)、褥瘡対策検討委員会(年4回)、事故防止対策委員会(年4回)	誕生会、PTリハビリ、体重測定、デイ定例会議(月1回)、事故防止対策委員会(年12回)、感染症対策委員会(年4回)	朝光苑運営会議(月1回)、衛生委員会(月1回)、苑だより発行(年4回)、地域包括定例会議(月1回)、居宅定例会議(月1回)
4月	料理クラブ、お花見外気浴	お花見散歩	

5月	菖蒲湯、端午の節句、園芸活動(薩摩芋)、母の日 料理クラブ、ホーリングレク	菖蒲湯	一斉緊急メール訓練、生活習慣病健診(5/17～8/30)
6月	料理クラブ、父の日	梅ジュース作り	全体職員会議(6/10) 苦情解決委員会(6/27)
7月	七夕飾り、スイカ割り ※コロナワクチン接種(4回目:7/12)	スイカ割り	火災避難訓練 集団健診(7/5～7)
8月	料理クラブ(かき氷)、苑庭花火鑑賞		
9月	朝光苑まつり(中止)、ぶどう狩り(食堂内) 敬老祝いレクリエーション		ストレスチェック、一斉緊急メール訓練、地震避難訓練
10月	料理クラブ、ミニ運動会、歯科検診、胸部レントゲン撮影		夜間火災避難訓練
11月	※クラスター発生により行事予定等は中止(一部延期)	サンマ焼き	一斉緊急メール訓練
12月	インフルエンザ予防接種、年末お楽しみ会(中止) ゆず湯、料理クラブ(中止)、イルミネーション鑑賞	年末お楽しみ会、ゆず湯	職員インフルエンザ接種 利用者アンケート実施 障害者短期入所事業:県実地監査(12/22)
1月	正月遊び、書初め、絵馬づくり、料理クラブ ※コロナワクチン接種(5回目:1/24)	餅つき	集団健診(1/25)
2月	料理クラブ、豆まき	フラワーアレンジメント	地震避難訓練、職員腰部検診、全体職員会議(書面)
3月	ひな祭り飾り		一斉緊急メール訓練 防犯訓練(さすまた使用例)

## (2) 利用状況

朝光苑各事業の令和5年3月31日現在の利用状況は以下のとおりです。

### ①介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

(ア) 在籍状況等(単位:人、%)

(定員75人)

月 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
当月初	71	71	71	71	72	71	67	65	65	68	70	68	—
入所者	3	0	1	1	1	0	0	0	4	2	1	1	14
退所者	3	0	1	0	2	4	2	0	1	0	3	4	20
(内、看取り)	3	0	0	0	1	3	2	0	1	0	0	1	11
当月末	71	71	71	72	71	67	65	65	68	70	68	65	—
月別利用率	94.6	93.7	91.9	90.2	91.0	91.3	87.5	85.0	85.4	85.2	84.0	83.2	88.6

※(目標利用率:94%・年間利用率:88.6%)

(イ) 男女別構成(年度末)

区分	男	女	計
人数	10人	55人	65人
割合	15.4%	84.6%	100%

(ウ) 平均要介護度(四捨五入)

※平均要介護度：3.9

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
性別	男	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6	3.7
	女	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0
平均	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9

(エ) 年齢別構成(年度末)

※平均年齢：86.8歳

年齢	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	計
人数	2人	8人	31人	21人	3人	65人
割合	3.1%	12.3%	47.7%	32.3%	4.6%	100%

(オ) 在苑期間別構成(年度末)

※平均在苑期間：3年2か月

期間	6か月未満	6か月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年以上	計
人数(人)	10人	7人	22人	13人	10人	2人	1人	65人
割合(%)	15.4%	10.8%	33.8%	20%	15.4%	3.1%	1.5%	100%

## ②短期入所生活介護事業(ショートステイ)

(ア) 高齢者・障害者別利用況等(単位：人、%)

(定員14人)

月 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	利用者	36	32	34	34	37	34	36	9	27	30	27	28
高齢者短期	36	32	34	34	37	34	36	9	27	30	27	28	—
介護予防	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
障害者短期	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	—
延べ人数	337	345	341	359	403	373	359	23	210	243	253	328	3,574
高齢者短期	337	345	341	359	403	373	359	23	210	243	253	328	3,574
介護予防	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
障害者短期	1	3	0	0	0	3	0	0	0	3	0	3	13
計	338	352	341	359	403	376	359	23	210	246	253	331	3,591
月別利用率	80.5	81.1	81.2	82.7	92.9	89.5	82.7	5.5	48.4	56.7	64.5	76.3	70.3

※1日平均利用者数：9.8人(目標：利用率86%・年間利用率：70.3%)

## ③デイサービスセンター事業

(ア) 利用状況等(単位：人、%) 開所日/297日

(定員25人)

月 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用契約者	70	70	71	72	70	73	73	69	68	65	68	69	—
内、通所相当サービス	15	17	19	18	17	18	20	2	19	21	18	26	—
延べ利用者数	509	418	517	508	523	521	535	21	287	360	350	453	5,002
内、通所相当サービス	86	85	102	99	88	98	105	2	69	87	88	136	1,045
月別利用率	81.4	72.7	79.5	78.2	80.5	83.4	82.3	3.5	47.8	60	63.6	69.7	67.4

※1日平均利用者数/16.8人(目標：利用率85.0%・平均利用率：67.4%)

#### ④居宅介護支援センター事業

(ア) ケアプラン作成件数 (単位: 件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護支援件数	80	80	85	91	90	93	94	91	90	88	86	84	1,052
介護予防支援件数	4	4	3	3	3	4	4	4	3	4	4	4	44
認定調査件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※(目標件数: 105 件/月・月平均: 91.3 件)

#### ⑤地域包括支援センター

(ア) ケアプラン作成件数 (単位: 件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防支援件数	71	65	67	64	60	63	64	68	66	61	57	58	764
介護予防ケアマネジメント	70	69	72	73	65	61	65	59	65	62	57	64	782
訪問型及び通所型サービスC	0	0	0	1	3	1	0	2	6	1	0	3	17
住宅改修理由書作成件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

※介護予防支援総件数(目標: 140 件/月・月平均: 130.3 件)

(イ) 包括支援センター業務

業務	主な実績等
総合相談・支援業務	・総合業務 (10,531 件) ・介護相談会 (13 回) ・市民向け講座 (6 回 72 人参加)
権利擁護業務	・成年後見制度講座 (1 回 37 人参加)
包括的・継続的ケアマネジメント業務	・ケアマネカフェ (4 回)
介護予防ケアマネジメント業務	・要支援者のケアプラン作成(第1号介護予防支援事業)
在宅医療・介護連携推進業務	・医療リスト作成 ・在宅医療・介護連携推進会議(2 回) ・在宅医療・介護連携推進事業に係る多職種合同研修(3 回)
生活支援体制の整備業務	・生活支援コーディネーター配置 (1 名) ・生活支援コーディネーター会議(12 回) ・地域民生委員情報交換(11 回) *8 月中止 ・よろず屋(第2層協議体)(10 回) *8・2 月中止(書面開催)
認知症施策の推進業務	・認知症初期集中支援チーム員会議 (12 回) ・認知症地域支援推進員連絡会 (12 回) ・認知症サポーター養成講座(1 回 30 人参加) ・オレンジカフェ (11 回 173 人参加) *9 月中止
地域ケア会議	・市主催地域ケア会議(10 回) ・市主催地域ケア会議事前会議 (4 回) ・包括主催地域ケア会議(4 回)
一般介護予防事業	・ノルディックウォーク講座 (8 回)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ体操「実施区域：幸町・栄町・膝折町」（109回 1,355人参加）</li> <li>・体操サポーターフォローアップ講座（1回）</li> </ul>
--	--

### （3）外部協力・援助等

（ア）ボランティア受け入れ

新型コロナウイルス感染症対策により、ボランティア活動は年間を通し中止としました。

（イ）地域との交流等

新型コロナウイルス感染症対策により、地域との交流等は年間を通し中止としました。

### （4）実習生の受入れ

十文字学園女子大学(2人) ウェルネス歯科衛生専門学校(13人) 朝霞准看護学校(14人)	合計 29人（延べ 119日）
---	-----------------

※新型コロナウイルス感染症対策により実習受け入れを制限しました。

### （5）面会者数

区分	延べ数	備考
来苑による面会	232人	R4.7.1から面会再開 (R4.7.1～R4.11.1の期間のみ面会実施) ※面会制限期間は一部窓越し面会を実施
LINEによる面会	105回	ご家族複数人でのLINE面会有り

※新型コロナウイルス感染症対策により来苑による面会を制限しました。

### （6）人材育成

（ア）外部研修参加／主催：埼玉県社会福祉協議会・老人福祉施設協議会等

管理部・施設部	在宅部
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全運転管理者研修</li> <li>・福祉職員にふさわしい葬送儀礼マナー研修</li> <li>・改正個人情報保護法(事務員研修)</li> <li>・BCPの作成のコツを学ぶ</li> <li>・社会福祉施設防火安全講習会</li> <li>・健康危機管理研修会(朝霞保健所)</li> <li>・施設における衛生管理(事務員研修)</li> <li>・個人情報の保護に関する法律施行条例にかかる職員研修会</li> <li>・福祉避難所担当者会議及び合同訓練</li> <li>・話し方・折衝・交渉力向上研修(中堅職員対象)(3名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症実践者研修</li> <li>・チームリーダーキャリアパス研修(1名)</li> <li>・介護支援専門員実務研修における実習指導者研修会</li> <li>・障害者差別解消法及び朝霞市日本手話言語条例に関する研修</li> <li>・埼玉県ヤングケアラー支援推進協議会</li> <li>・高齢者虐待対応専門員研修</li> <li>・生活保護制度入門研修</li> <li>・自立支援型地域ケア会議コーディネーター研修</li> <li>・介護予防事業情報交換会</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント防止研修:指導的職員対象(4名)</li> <li>・中堅職員キャリアパス研修(2名)</li> <li>・チームリーダーキャリアパス研修(2名)</li> <li>・初任者キャリアパス研修(1名)</li> <li>・認知症介護基礎研修(2名)</li> <li>・新任職員フォローアップ研修(6名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター初任者研修</li> <li>・生活支援コーディネーター課題別研修</li> <li>・キャラバンメイト養成研修</li> <li>・埼玉県難病医療連絡会事業研修</li> <li>・企業等における高齢者の生活支援に係る取組事例紹介および情報交換会</li> <li>・ヤングケアラーのための教育・福祉合同研修</li> <li>・精神保健福祉研修</li> <li>・認知症地域支援推進員新任者研修</li> </ul>
--	---

(イ) 内部研修状況

施設部(特養・短期入所)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報/プライバシー保護について</li> <li>・入浴事故防止(浴室内実地研修)</li> <li>・感染症について</li> <li>・認知症のケアについて</li> <li>・ノロウイルス吐物処理(動画視聴)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誤薬の予防について</li> <li>・看取り介護研修</li> <li>・虐待防止について</li> <li>・事故防止対策</li> <li>・褥瘡予防について</li> </ul>

デイサービスセンター	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント研修</li> <li>・個人情報保護取り扱い</li> <li>・虐待防止について</li> <li>・介護予防について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症関連研修(食中毒について)</li> <li>・手洗い実践研修</li> <li>・身体拘束について</li> </ul>

居宅介護支援センター・地域包括支援センター	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者虐待について</li> <li>・プライバシー保護/個人情報取り扱いについて</li> <li>・感染症予防研修</li> <li>・コロナ禍での災害対策について</li> <li>・認知症ケア(認知症の理解)について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業倫理と法令遵守について</li> <li>・BCPについて</li> <li>・在宅での看取りについて</li> </ul>

(ウ) 資格取得状況

介護福祉士(5名) 社会福祉士(1名) 認知症介護実践者(1名) 介護支援専門員(1名)  
衛生管理者(2名)